

新編水滸畫傳

七編

六



門
875
巻
66

新編水滸画傳卷之六拾六

東武 高井蘭山 公羽 譯編

明治三十二年
十月十日
發行

○梁山泊小舎と名く大買市以

神行大保戴宗浪子。夢主月。鉄叫子。樂和。聖子。善生。蕭。潘。四。氏。以。其。城。門。の。邊。小。出。づ。拂。曉。と。待。居。ける。処。小。城。戸。已。小。閉。け。し。久。四。公。飛。が。如。く。小。城。外。小。走。り。出。し。小。梁。山。泊。と。屋。で。同。り。け。り。扱。事。柳。く。へ。け。上。よ。多。ん。ん。夜。慈。善。が。同。じ。づ。る。處。公。中。畏。疑。ひ。け。り。翌。日。も。を。射。が。家。の。下。友。飯。と。送。り。し。後。差。小。入。ら。ず。彼。お。人。の。老。見。え。ざ。り。し。く。下。皮。大。小。孩。を。慌。て。く。老。於。管。又。引。と。告。げ。れ。ば。老。於。管。自。ら。後。園。の。内。入。り。方。々。尋。し。処。小。墻。の。上。より。二。條。の。索。垂。し。柳。の。樹。に。挂。著。て。あり。し。く。わ。や。逃。去。する。と。知。り。も。右。射。小。見。へ。く。け。し。と。告。げ。る。ふ。を。射。大。小。驚。る。と。い。ふ。く

新編水滸画傳卷之六拾六

憂と漏く持岡。只虚病とかりて物ざりける。次の日帝。文徳殿は
 出御あつて。百官の朝賀と請ひて。後。殿次友小同せり。今日文
 成の列已おこさや。殿次友奏しと云。今日九の文。右の武を列已
 分して。群臣をく殿下お付候せり。は時天子九右の勅命あけり。
 玉座と捲しめり。列ら樞密院を費と召物。同せり。汝去年
 十万の大軍と引く。梁山泊と攻し。時。大なるの力と竭ぎらふあ
 去年大軍と率して梁山泊と攻し。時。大なるの力と竭ぎらふあ
 しょうもの。老吳老し。人る病とゆ。自ら死する者。殺と知は。是
 小依く。長をと收めく。版陳せり。後。又。多。休。中。後。より。並。び。進。ん。ど
 攻ける。知。ふ。不。思。風。病。お。犯。され。戦。とな。は。と。能。は。是。又。申。途。より。引。回
 しぬ。天子。これ。と。殿。次。友。と。大。小。知。せ。り。ひ。汝。奸。佞。の。臣。を。朕。と。知。

くこの云し。汝去年大軍と引く。梁山泊と攻し。只あ時。の。戦。は。敢
 小放し。人る。と。夫。へ。り。朕。堂。これ。と。知。ご。ん。や。後。多。休。中。後。より。並。び。進。ん。ど
 の。後。程。と。費。し。云。船。と。造。り。莫。老。の。氏。丈。と。若。め。是。又。三。陣。の。戦。お。負
 て。捨。と。かり。しょうもの。常。の。是。と。害。せ。ば。一。命。と。饒。せ。り。汝。大。人。忠。命。と
 辱。め。く。天。下。の。笑。ひ。と。お。や。ぐ。虚。云。女。使。と。以。く。朕。と。知。う。は。を。つ。も
 云。云。云。朕。堂。常。の。お。列。府。と。侵。さ。ば。良。民。と。擽。ば。只。教。免。の。詔。書。と
 侍。く。玉。座。の。端。に。か。と。登。さん。と。欲。す。ら。お。汝。が。と。兒。賢。と。知。む。小。人。胡。よ
 在。由。急。下。情。上。不。達。せ。ば。朕。が。大。率。と。得。れ。り。本。汝。と。飛。して。飛
 小。示。し。後。来。と。禁。め。ん。と。お。く。も。今。日。い。せん。免。し。一。命。を。代。り。日。を。免。と
 沙。汰。せん。と。大。小。怒。し。せ。り。ひ。今。日。の。事。重。貫。黙。く。と。て。退。さ。け。り。天。子
 又。法。の。大。臣。と。堂。で。宣。ひ。ける。ハ。朕。自。ら。詔。書。と。候。く。常。の。お。罪。と。免。し

玉家の為に依て用人と欲に准う教くけ後の勅使とらんやと未
と宣ひも終つてさるふ。右耐宿え系列と出奏しける人。臣不也と
との世。然るに梁山泊ふ純く。彼中と接論とべし。天子受せらひて。即
依び斜なげ。別親を自任とせしめ。又藤原友房を
て。金牌三十六。銀牌七十二。紅綿三十六。正縁綿七十二。並に御
酒二百八瓶と出せしめ。宿を耐お付し。招安の以旗一流
と賜。近日發足とせしめ。勅命をけし。宿を耐。勅命と承
り。明日もお立ひりんとて。天子お辭し。別れり。別文徳殿と罷け
る。重樞密の百官と共お朝廷と出く。私もお取。自ら大は羞く。虚
病とかり。お五日より。糸肉と休めらる。宿も又け。受とせしめ。志也懼
し。毎日持回と遍く。んとかりし。私よ世間の風雪と窺ひ居り。扱も

宿を耐へは。縁糸と御。御教先の御旗と。高きよ持せ。城の南薰門と
お出けるふ。法の友人せ。城下と送りし。宿を耐。態とこれと謝し。
遂に別く。海船へとを乗と。又裁宗。莫き。蕭條。宋和。世人の
取。夜と日。終る。梁山泊ふ。純同り。始終のよと。宋江。並に。伏
然。告知。を。燕。書。彼。御。筆。の。御。筆。と。知。出。し。宋。江。よ。望。し。け。は。法
人。皆。是。と。り。ん。収。び。さ。ら。り。り。り。其。學。亮。が。云。け。後。の。必。定。吉。左。右。あ
る。べし。宋。江。と。聞。く。九。百。玄。女。の。裁。と。知。出。し。空。と。屋。を。御。り。り。か
果。し。く。大。吉。の。裁。と。知。り。し。く。宋。江。大。に。収。び。平。生。の。終。り。必。定。成。能
と。べし。裁。宗。燕。書。の。宋。江。途。中。お。出。く。奉。の。祥。と。窺。く。奉。る。べし。
と。作。せ。け。る。ふ。あ。人。合。を。途。中。お。出。く。妻。細。を。と。美。合。と。行。ひ。同。り。別。宋
江。お。報。け。る。ふ。度。又。朝廷。より。宿。を。耐。と。勅。使。と。し。宿。を。耐。御。酒。金。牌

深山泊への賜と
宿大尉に附与
せらる



堂上流る。蕭然とく。治多とね。龍の時。蕭然を射の命。となく。治多と披。法し。なり。

制曰朕自即位以來用仁義以治天下行禮樂以變海内公賞罰以定于戈求賢之心未嘗少怠愛民之心未嘗少洽博施濟眾欲與天地均同體道行仁咸使黎民蒙庇遐通赤子悉知朕心切念宋江盧俊義等素懷忠義不施暴虐故順之心已久報効之志凜然雖犯罪惡各有取由察其情懇深可憫憐朕今差殿前太尉宿元景賚捧詔書親到梁山水泊將宋江等大小人員所犯罪惡盡行赦免給降金牌三十六面紅錦

三十六疋賜與宋江等上頭領銀牌七十二面錦七十二疋賜與宋江部下頭目赦書到日莫負朕心早々啟降必當重用故茲詔勅想宜悉知
宣和四年春二月日 詔示

今蕭然已お詔書と法平りし。治多一月お蕭然と。再。夫恩と謝せり。宿太尉御賜の金銀牌紅綠綿よと把く諸頭領。天子我お勅命ちく此御酒と完とて。我自一盞と斟。刻然人お對し。と云けり。疑ひもやあ。んづ。が。我。一盞と飲。さ。義。士。これ。と。疑。ひ。と。情。し。く。己。お。一盞と乾。け。ま。が。宋。江。お。好。く。これ。と。感。謝。せ。り。宿。太。尉。又。一盞と斟。ぐ。宋。江。お。送。り。け。り。お。宋。江。盞。と。親。く。お。飲。し。

傳ぐこれと飲しるべきは次小盧俊義吳用公孫祐盡と執り明小瑞
一。百八人の次飲せし宿を射と指して云けるハ。昔お昔日某州
お能く大尉の事とねしなり。今日又を尉の憐愍とありて大
飛と免うると。後再生の昔にけ息を以て報ひせしや。宿を
尉が我系某。御近おの天小智くんと知りしや。昔に使
系とねおし。奏せお及に後お年月と延引せり。前日軍機
が事等とねし。神く是下おの哀情あることと。我おそれんと憂る。知
お。天子披書做小能く私小是下おの事と。我お問せのうおす。我
け役機お家。一と奏せし。知お堂科んや。天子のせん達て。つぎ
の箱より。敵お違し。天子能知し。めし。すし。我奏せし。知と
一と符命。一鳥も差ごり。天子のし。是下おのた。我をこと。

後。このひ。お立日文使。做お出。御を。百官の事。おと。童極密と。差し。つ
まひ。高を射と。恨せ。おひ。子達。御。自。証。事。と。修。へ。り。ひ。我。と。初。使。は
今。ぞ。し。れ。是。下。等。の。飛。と。御。教。免。あ。り。お。な。り。子。く。利。名。と。細。へ。お。し。
上。と。ぞ。一。案。に。お。水。り。大。小。使。ひ。彼。聞。機。事。と。義。堂。へ。邀。へ。宿。を。射
お。遇。し。け。り。お。宿。を。射。故。人。お。お。違。く。大。役。斜。り。は。君。坐。已。お。定。り
一。宿。に。酒。を。宴。と。役。し。め。し。山。河。の。形。お。お。と。ま。ひ。大。小。飲。砂。と。借。し
て。美。會。お。宴。け。り。お。宿。を。射。と。始。し。て。は。皆。客。殿。お。入。り。歌。し
け。り。お。喜。音。も。又。酒。宴。と。役。け。し。後。日。軍。機。一。改。お。と。や。數。日。と。な。り。し。ち
ハ。宿。を。射。ゆ。系。と。んと。飲。ひ。案。に。再。こ。れ。と。當。り。云。け。る。お。射。機。數。日
逗留。せ。り。山。河。の。風。氣。と。も。隣。に。遊。覧。し。る。人。を。射。が。云。案。に。飲。る
の。事。と。朝廷。の。事。と。知。し。て。我。と。當。り。お。な。り。ん。我。此。後。天子。の。勅。命

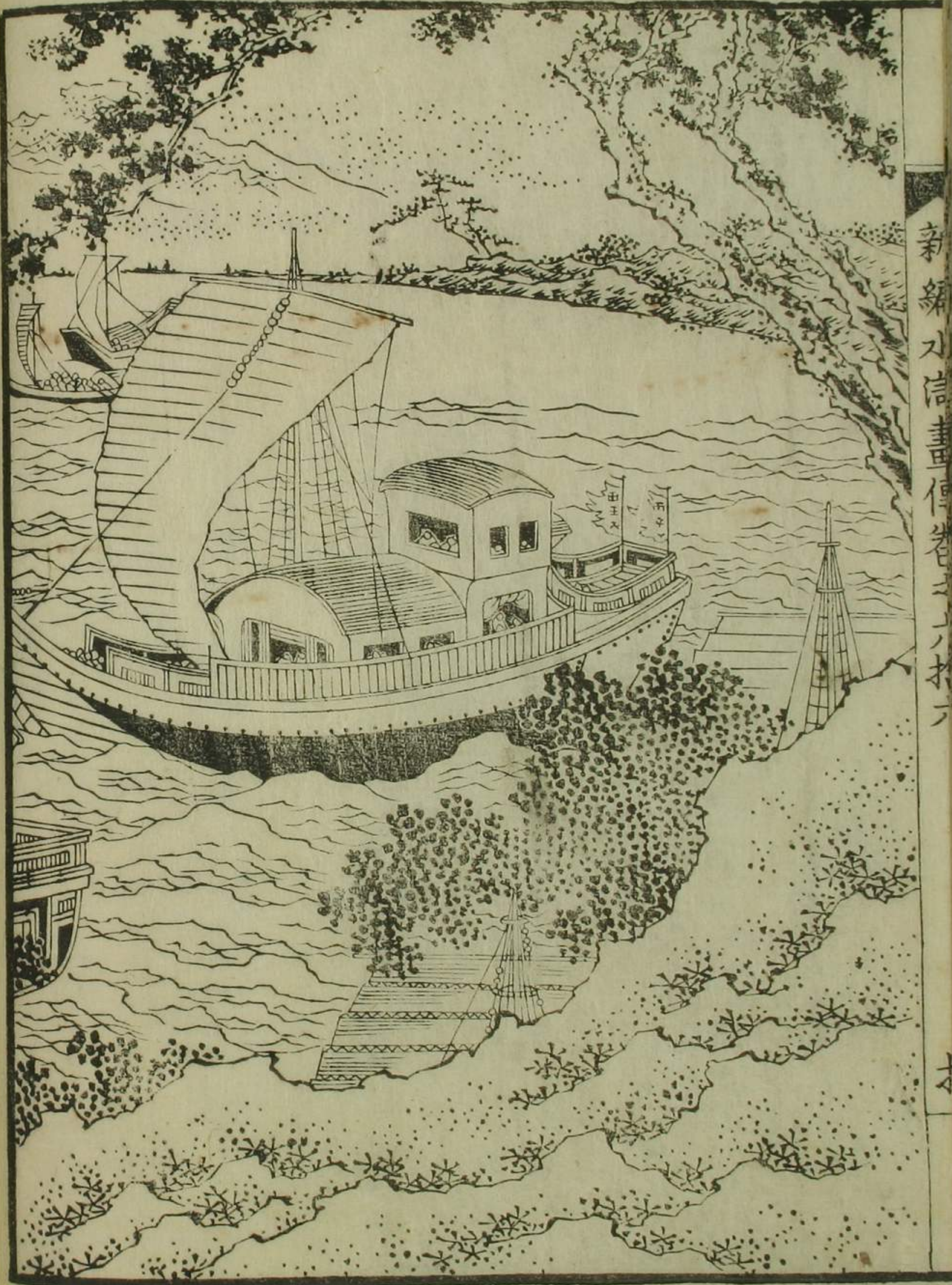
と奉をけ処より。大義已小細く。一日由子へ飯京を。若延引お及び。奸計又いある計を。吳義出来ん由料。がに。室江が。只右尉と。田めく山の。周京と。又世を。とこと思ひ。今日を。飲宴と。某こ。ひて。明日。あ。奔。く。ま。と。大。小の。次。上。堂。下。列。座。一。盤。の。金。浪。海。王。る。翌。日。未。明。宿。右。尉。已。小。旅。装。束。と。酒。一。盃。の。金。浪。海。王。と。儀。を。送。り。け。る。宿。右。尉。堅。く。辞。し。て。傳。り。し。を。室。江。再。三。懇。小。款。ド。け。る。宿。右。尉。由。固。辞。が。く。れ。と。收。め。已。小。人。と。傳。し。山。陳。と。お。立。一。く。宿。江。又。聞。換。章。小。款。と。送。く。宿。右。尉。と。の。小。却。は。飯。り。め。法。院。院。皆。某。と。奏。し。勅。使。と。送。り。也。令。汝。遊。と。

酒。く。三。十。里。介。小。玉。ま。さ。ば。室。江。又。盡。と。訊。く。宿。右。尉。小。款。ト。再。三。謝。し。く。云。け。る。某。う。け。度。脚。教。免。と。尋。り。お。初。く。右。尉。の。湯。か。り。明日。某。某。の。ひ。な。び。録。官。一。奏。受。め。る。某。と。仰。け。の。人。宿。右。尉。が。云。け。半。小。款。一。今。今。易。う。と。一。我。某。小。回。り。な。ば。是。下。お。の。大。義。と。細。細。小。奏。受。す。一。只。官。一。上。京。を。一。某。も。已。小。東。系。小。知。り。か。る。先。使。者。と。出。し。て。精。小。報。し。久。待。り。ば。我。ま。こ。の。遊。系。因。一。一。報。し。め。天子。小。奏。受。し。勅。使。と。以。て。義。士。と。送。り。し。め。十。多。の。礼。儀。と。取。す。一。宿。江。が。云。昔。日。王。倫。は。山。を。究。て。後。鼎。蓋。又。は。知。と。も。り。某。小。知。り。多。年。百。姓。を。害。し。一。令。限。射。室。と。擲。し。と。某。某。と。某。今。山。陳。小。款。一。而。の。金。浪。と。一。十。日。の。月。子。買。市。を。一。百。姓。と。利。一。を。後。某。と。傳。し。一。上。京。を。一。某。又。上。京。を。一。の。ひ。

宋江諸
頭領と
卒と金
沙灘と



新編水滸傳卷之六拾六



新編水滸傳卷之六拾六

聚也三月三日より十三日まで買市となつた。梁山泊の庫は收盡し令
 沼珠王孫没後、孫の相を遣ひ出さし。山のどく積も、月只献上
 相たり。數種播種をせしむ。凡山陣ありて買市となつた者も、遍
 く酒食とみく。款待せしむ。絲の律なりけり。四方の百姓をのど
 く屯りく。市も降む。宋江号令と傳へ、十とみく。一は換大ひは百姓
 と利しける。百姓ども悉く、此の福とぬ。是日、大收し。十
 日、岡山陣は降る。市已に罷りし。各宋江に附して、ゆりけり。
 宋江法家の妻子と先、おの送人と、後しける。兵用、傳へ云。宋江
 何ぞ、此等の事と、まじく。法家の眷族、岡山陣は、あや、並、我、我、
 皆天子と、お、思と、慕るの、日、ま、ふ、よ、く。妻子、お、た、つ、送、べ、く。
 宋江、自、これと、あ、く、人、軍、軍、作の、を、む、可、く、後、は、妻子、お、

岡山陣あり。我軍は、あ、よ、上、京、せん、と、て、三、軍、お、號、令、と、傳、へ、く、用
 之と、個、へ、め、聖、日、の、二、点、ふ、山、と、り、り。せ、海、列、よ、お、り。右、守、張、叔
 夜、お、見、え、安、細、と、傳、り、け、り。張、も、喜、悦、し。宋、江、も、と、答、へ、り。
 親、三、軍、と、賞、し、け、り。宋、江、已、よ、ち、お、附、し、て、海、加、と、お、出、依、の
 軍、も、と、引、く。東、京、よ、を、發、し、先、戴、宗、燕、青、と、馳、宿、を、射、よ、り、
 と、告、知、し、宿、を、射、は、け、消息、と、傳、く。急、を、朝廷、よ、奏、因、し。宋、江、未、が
 人、も、と、城、介、お、お、り、ぬ、と、奏、し、け、れ、ば、天子、歡、喜、を、く。御、感、既、斜、な
 ら、八、州、宿、を、射、し、即、當、探、探、使、の、官、一、人、と、お、添、く。城、門、の、介、よ、を、し、
 れ、と、み、く。宋、江、未、と、違、り、あ、ら、ひ、け、る、ふ。宋、江、未、の、遣、り、ん、は、紅、の、旗、二、
 流、と、持、し、一、流、の、旗、を、吹、天、の、二、字、一、流、の、旗、を、續、必、と、云、二、字、と、書、け
 り。旗、の、吹、死、に、如、く、甲、と、名、し、美、中、た、る、粘、ひ、な、り。惟、吳、學、究、と、

綸巾羽衣と云々。公孫瓚の驚愕も後と云々。魯智深の怒罵の
僧衣と云々。武行者の赤鬼面衣と云々。嚴ふ列と定めて
あざと云々。名目小東京城の外外至りける

○宋公明殿と入る一々招安と云

此時宿太尉の御駕指揮使と引城外まで出迎ける。宋公明は自
小諸將と共に舟楫。軍馬と郭曹門の外外屯。陳と引ひ出
勅令と待候人宿太尉御駕指揮使と引く。宋公明は
已小郭曹門の外外屯。勅令と待候と奏しける。天子の旨
く。朕は宋江も百八人の尊い上天星も夜。英雄勇猛他も越と
ると聞。今日朝廷も改改して。良臣とかなん。と国家の福と云々。朕
明日百官と引自。宣德樓の上り。城中の軍民もと佐。彼もと一

見せん。百八人の豪傑せと。美中も掛掛せと。城中も入りぬ。よ。大軍
と入城せ。民必と隆初とととと。僅四五百の人数と引ひ。七
を東義門より入りぬ。文徳殿までおと。後。已も勅令
る。け。中。指揮使聖と。舟。城。外。上。宋。江。が。陳。屋。も。お
り。勅令の意と。傳。へ。け。る。宋。江。に。お。傳。へ。これ。と。あり。お。日。張。官。も。令
い。く。精。兵。も。百。餘。人。と。擇。せ。お。の。令。鼓。と。お。し。ぬ。後。も。劍。戟。と
持。せ。中。も。吹。天。後。國。の。あ。旗。と。軍。士。も。軍。器。と。持。て。嚴。も。枝
掛。隊。伍。と。一。列。も。連。り。ぬ。東。義。門。の。上。り。城。中。も。入。り。ぬ。東。義。門。の。民
百姓も。老。と。杖。け。初。と。抱。き。お。の。の。ど。く。海。も。迫。て。ん。お。は。し。時。天。子
も。百。官。と。引。く。宣。德。樓。も。登。り。ぬ。宋。江。も。行。旅。と。歡。び。あ。る。解
放。解。室。洞。又。と。仗。も。お。對。し。て。外。孔明。孔。亮。も。笑。と。執。肩。と。齊。し。ぬ

此行
孫立

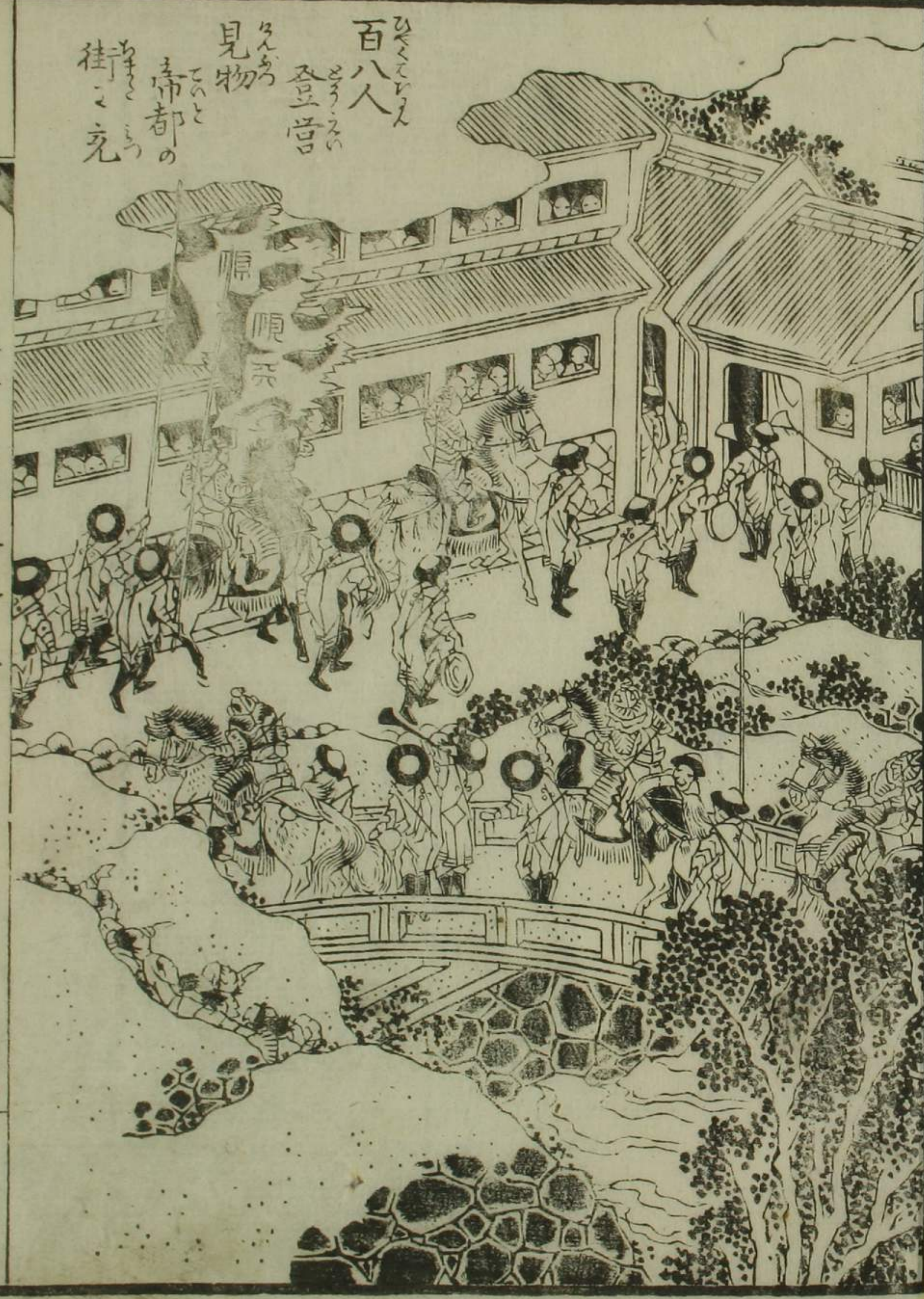
ね並ハ。鄒淵。鄒淵。渾と立。李立。李雲。韓滔。彭玘と並。何晏
 武勇の精神。孫立。薛永。施恩。猛烈。程昱。單廷珪。兗袍。閃爍。
 魏定国。紅甲と光輝。宣贊。郝思文。左右小列。凌振。林冲。子
 郭盛。呂方。画戟と持。孫立。歐陽。九。鄧元。鮑旭。樊瑞。右。双。海。とつ。
 聖手書生。蕭。張。易。帽。儒。服。と。右。手。小。下。ぬ。絲。韁。玉。勒。と。負。せ。と。る。
 山東の豪傑。宋江。画。鞭。調。鞍。と。負。せ。と。る。河北の英雄。盧。俊。義。
 呂用。の。論。中。と。裁。と。羽。と。持。公。孫。勝。の。鶴。鷺。乃。袍。林。冲。と。関。羽。と
 連り。呼。延。灼。と。秦。明。と。並。び。花。榮。揚。志。と。左。右。一。索。超。董。平。等。と
 くを。魯。智。深。の。烈。火。の。加。衣。袈。裟。と。掛。武。行。者。の。香。皂。の。香。皂。の。香。皂。の。香。皂。
 と。並。び。徐。寧。張。清。と。並。び。劉。唐。史。を。ね

此行
病尉遲

病。尉。遲。と。并。び。燕。青。戴。宗。と。同。行。李。達。の。左。小。居。穆。弘
 右。小。居。阮。二。阮。五。の。病。尉。遲。と。並。び。兩。張。の。月。張。横。と。先。の。李
 俊。張。順。と。左。右。一。陶。宗。旺。の。鄭。天。壽。と。双。と。な。り。王。綏。虎。一。丈。青。と。配。部。
 項。充。李。哀。宋。為。杜。迁。と。並。び。葉。因。子。小。蔚。遲。と。對。孫。二。娘。と。顧。大。嫂
 と。等。し。の。後。面。小。蔡。福。蔡。慶。陳。達。揚。春。あり。前。次。小。童。威。童。猛。侯
 健。孟。康。と。列。莫。順。揚。林。省。と。對。穆。春。曹。正。踵。と。接。朱。貴。朱。富。對
 一。連。り。周。通。李。忠。と。お。接。左。小。王。臂。右。小。孫。留。仙。と。り。宋。清。樂。和
 と。接。焦。挺。石。勇。小。池。の。湯。隆。杜。興。と。お。伴。丁。得。孫。龔。旺。と。同。行。
 王。定。六。の。面。目。淨。臉。小。都。保。四。の。身。軀。長。大。く。時。遷。乘。寬。白。勝。高。強。く
 殷。系。住。の。馬。上。君。子。起。後。殿。三。人。あり。安。石。令。素。波。と。云。皇。甫。端
 紫。髯。と。托。の。神。機。軍。師。朱。武。中。間。の。英。雄。豪。傑。胡。廷。小。入。形。勢

子益御威威あり。百八人の衆を友爵と授けしむると。勅令下り
 一久。宋に臣使義おね附し。退却し。又陸路へ取りける。終る
 怨極密院の友助と表となり。奏しける。新なる内取し。こ
 老も今と申鳥の切あり。あざうおぼし。く友爵を加へ。あつたうれ
 後日勅切と立ち。待く。は。は。は。おぼし。く。人。う。彼。十。万。の。勢。と。似。く。城
 弁。小。勝。と。知。し。と。急。ひ。て。懸。り。一。宋。江。お。が。人。る。い。は。申。切。の。友。軍。海。軍
 一。る。老。者。な。れ。ば。これ。を。押。下。小。遠。う。め。弁。海。の。軍。さ。る。い。又。老。者
 右。つ。ふ。ゆ。め。の。傳。の。ま。と。知。く。め。海。お。む。て。山。東。河。お。未。の。地。ま。ま。し。一
 の。人。是。別。ら。良。計。な。ん。天子。これ。を。敵。使。を。も。儀。お。日。の。ひ。ま。日
 御。駕。給。押。使。と。申。の。う。海。中。お。馳。り。ひ。宋。江。お。が。人。る。速。し。これ。と。知。て
 ち。お。久。く。一。必。途。疑。ま。り。ゆ。な。れ。と。嚴。し。勅。令。あり。し。は。法。政。於

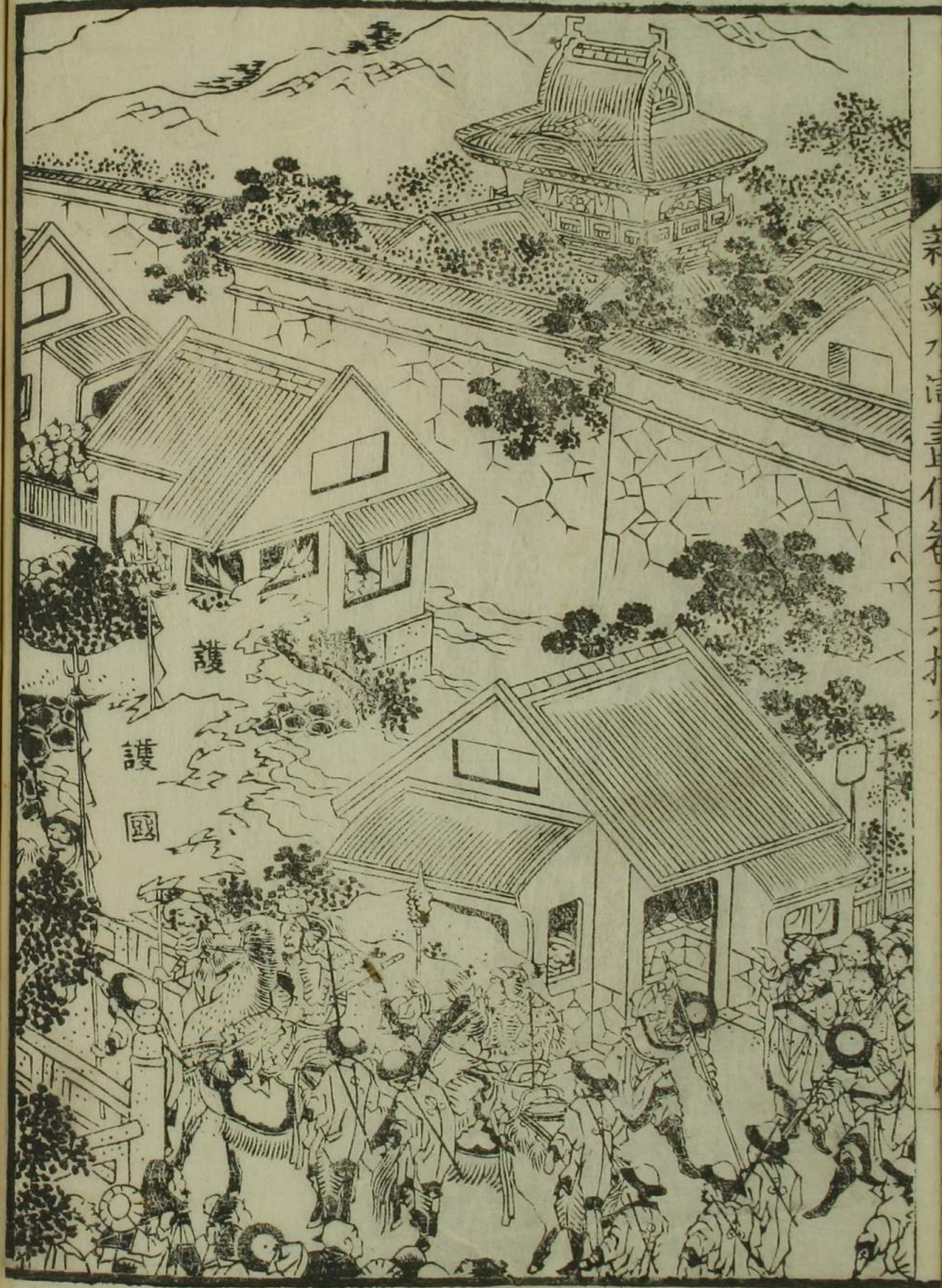
これと申く。中お懐り。我軍今朝廷お内取せし。う。ま。と。申。爵
 とも。交。さ。る。お。一。百。八。人。の。老。と。や。散。く。お。な。う。ん。と。元。年。本。軍。お。あ。は。れ。我。軍
 一。皆。死。生。と。一。知。お。見。ん。と。盟。り。け。る。お。誰。り。肯。く。物。と。替。く。老。あ。え。ん。や。只
 け。申。お。終。く。の。勅。令。お。内。ひ。ぐ。と。必。法。け。の。ど。ん。と。我。軍。再。ひ。山。路
 お。内。へ。一。と。お。一。も。極。だ。勅。使。お。言。へ。け。ま。ば。宋。江。院。て。忙。め。と。法。政。と。制
 一。別。お。さ。と。ぬ。く。宋。一。勅。使。と。懸。ぐ。云。け。り。お。於。て。極。極。使。朝廷。お
 同。り。の。ひ。か。び。置。し。奏。し。の。め。さ。る。一。彼。極。極。使。法。政。於。を。言。え。と。見
 一。殆。ど。終。り。と。立。回。り。て。遂。お。一。句。も。納。ま。ら。ず。様。よ。奏。し。け。れ。ば。天子。大。い
 一。驚。き。の。ひ。又。極。密。院。の。友。お。申。御。降。儀。を。け。る。お。極。密。院。お。奏。し。と。彼
 一。事。已。お。内。取。せ。し。と。之。の。も。も。ん。い。ま。と。法。政。と。終。り。の。後。の。患。と。う。ん。片。づ。り。終
 一。と。と。ぬ。く。これ。と。思。ふ。お。百。八。人。の。徒。と。城。中。お。懸。一。入。て。一。人。も。漏。ら。ず。法。政



見物
 登壇
 帝都の
 街
 充

百人
 登壇

帝都の街



護

護

國

帝都の街

て。これと思ふよけいびきひよ。東江未だ人馬を差向ひて。遼の城を打せ。
 果一々戦功を立るべし。官爵の印沙汰あり。彼未だ延く。利
 ひの入。城を破る。家におおく。大ひは利あり。伏して。陛下。明う。わ
 れとおふ。いの人と。憐れ。奏し。ひつる。天子は。奏を。歡喜。あつ。大さ。よ
 童貫。ホと。罵り。ひ。汝。修。倭。の。害。勅。も。す。れ。法。と。好。て。賢。後。と。塞。ぎ。巧
 令。也。と。い。ひ。朕。と。報。き。天。下。の。大。軍。を。集。ん。と。い。今。日。の。人。皆。く。汝。が
 罪。と。知。る。必。死。必。死。と。様。を。と。大。ひ。不。怒。と。い。ひ。く。後。亦。く。も。抑。自
 詔。書。と。書。せ。の。ひ。く。東。江。不。帰。り。別。東。江。と。い。く。遼。と。彼。の。如。先。後。と
 く。其。の。法。物。せ。い。切。成。て。後。官。爵。と。授。け。り。ん。と。の。以。事。要。細。よ。勅
 命。あり。宿。を。射。と。東。江。が。跡。を。示。せ。り。ひ。く。遂。に。所。往。と。記。せ。た
 ま。い。い。く。百。官。が。く。退。出。し。り。け。り。扱。宿。を。射。の。詔。と。終。り。て。烟

と出。選。小。東。江。が。跡。を。示。せ。り。ひ。く。遂。に。所。往。と。記。せ。た
 一。憐。れ。と。い。ひ。く。東。江。不。帰。り。別。東。江。と。い。く。遼。と。彼。の。如。先。後。と
 制。曰。舜。有。天。下。舉。臯。陶。而。四。海。咸。服。湯。有。天。下
 舉。伊。尹。而。萬。民。俱。安。朕。自。即。位。以。來。任。賢。之。心
 夙。夜。靡。怠。迺。得。宋。江。等。衆。順。天。護。國。秉。義。全。忠。
 如。斯。大。才。未。易。輕。任。今。爲。遼。兵。侵。境。逆。虜。犯。辺。
 勅。加。宋。江。爲。破。遼。兵。馬。都。先。鋒。使。盧。俊。義。爲。副
 先。鋒。其。餘。軍。將。如。奪。頭。功。表。申。奏。聞。量。加。官。爵。
 就。統。所。部。軍。馬。討。日。興。軍。直。抵。巢。穴。伐。罪。吊。民。
 掃。清。辺。界。所。過。列。府。別。勅。應。付。錢。糧。如。右。隨。處
 官。吏。人。等。不。遵。將。令。者。悉。從。便。益。處。治。故。茲。制

陣屋小ゆり。出陣の羽衣を借しける。天子又中書省院の官二人は
勅命ありて三軍を率せりぬ。他一人の軍士内二指肉一斤を解る。
相束に用と借して。人をも二子ふもちを發し。虎八彪將は
前軍と營せ。十標結納小後軍と營せ。虎江を假義兵用と孫猪の中
軍と營り。大將の三改見牙李俊。張栢。張順。威靈。孟原
王定。赤とせし。水軍を引く。玄龍。蔡河の月より黄河は出。おは
北と望ぐを發と。此軍の羽衣は次巻小洋なり。

按ずる。百八人招安は依く。皆天子の御目通る。列座を一月
の。燕青あれば。天子の肉より。李俊が表子と云く。びら
かりしやと思されつ。又百八人の肉より。虎三娘。孫二娘。顧大嫂の
三人女武者あり。市楊の縁孫。魯智深。武行者まで。も腹は割れて

このわがえかざ
し。この婦女のこの一年も。又流布の通伝は義水滸
傳の下編三十八十七丁。虎將八彪將と云と。八と仮字のり。一
彪と書とれ。後人よ何の事とも辨が。是よの校合の種
ざる保か。

